

# 軍隊に関する法を研究する —特にイギリスの軍隊法—

一般科目 大田 肇

## 日本はまた戦争をするのだろうか？

大日本帝国は、『統帥権の独立』（軍隊が帝国議会や内閣を無視して、軍隊を動かすことができる）によって、日中戦争を泥沼化させ、さらには無謀な米英開戦（太平洋戦争）に踏み切り、最後は無残な敗北によって崩壊した。第2次世界大戦後の日本は、その反省から、「平和主義国家」となることをめざして、再出発した（はずであった）。

しかし、平和主義の方向性は理解されたものの、その具体的内容に関しては、様々な考え方がある。例えば、「平和を守るためには、日本も戦わなければならない」という意見がある。

## 自衛隊とは一体何なのだろうか？

帝国陸軍・海軍が壊滅した後、しばらく、日本には軍隊は存在しなかった。が、警察予備隊が発足し、保安隊と名称を変え、現在の自衛隊へと発展してきた。

戦力（軍隊）の保持を禁止している日本国憲法のもとで作られてきた自衛隊とは一体何なのだろうか？

## 【研究目標】外国の軍隊はどのように動いているのだろうか？

日本だけを見てもなかなか答えが出ない問題は、他の国での様子を知ることで、ヒントを得ることができる。

イギリスの軍隊とその運用に関する法を調べることで、日本の状況を整理し日本の特殊性を理解することができる。グローバルな時代にふさわしい研究テーマです。

著書： 新版 現代憲法—日本とイギリス—（敬文堂）、他